

二〇二六年度

二月三日午後入試

国語 (45分)

注意 1 開始の「チャイム」が鳴るまでは、中を見てはいけません。

2 答えはすべて解答用紙の解答らんに、はっきり書きなさい。

3 終わりの「チャイム」が鳴ったら、とちゅうでもやめなさい。

4 問題のページは、
5-1 から
5-12 まであります。

一 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(字数制限のある場合は、句読点や記号も字数に数えます。)

嘘と皮肉はどこで似ているか

これまでの考察により、嘘をつくことは、相手を騙そうと意図して、自分が真でないと感じておられることを、あなたも真であるかのように言う行為だという見方を得ることができました。以下では、この見方に基づいて、嘘をつくことに類似している他のタイプの行為との違いを考えていきたいと思えます。

次のような例を考えてみましょう。AはBと親しく付き合い、他の人には話せない秘密をBには話したこともあります。ところが、最近、CからBがAの秘密を陰で噂にしていると聞きました。Aは複雑な表情を浮かべた後、Cに「いやあ、Bは良い友達だ」と言いました。別の例も考えてみましょう。天気予報で今日は晴天だと言っていたので、私は、少し遠いキャンプ場まで出かけてバーベキューをすることにしました。準備が終わろうとする頃、雨雲が立ち込め、あっという間に大雨となりました。そこで私は言います。「気象庁は本当に信用できる。見てよ、この良い天気。雨、雨、雨」。

これらの例において、話し手は「Bは良い友達だ」とか「良い天気だ」と本気で信じているわけではないでしょう。むしろ、本当はそうだと信じていないことをまるで本当にそう信じているかのように装っている、と思われる。その限り、Lに含まれていた「自分が真でないと感じていることをあなたも真であるかのように」言うことに相当するよう見えます。しかし、これらの例におけるAや私の発言を嘘だとは普通言わないでしょう。これらの例は、言語学や言語哲学の文献において「皮肉」の例として用いられているものです。

② 皮肉において、話し手は聞き手に文字通りの意味ではない内容を理解させる必要があります。先の二つの例においては、文字通りに言われているのは反対のこと、つまり、「Bは良い友達なんかじゃない」とか「ひどい天気だ」ということが言わんとされているのでしよう。皮肉は、話し手が本当にそうだと信じていないことをあなたも本当であるかのように言う点で、嘘に似ています。

皮肉には言及対象への侮蔑があるが相手を騙す意図はない

しかし、たいていの場合、皮肉と嘘とが混同されることはありません。③ 両者には明確な違いがあるからです。言語哲学者のポール・グライス(一九一三〜八八)は、「私が何かを皮肉な仕方では、私の言う事柄が、敵対的ないし軽蔑的な判断だとか、憤りや軽蔑といった感情を反映するように意図されている場合にかぎられる」と述べています。たしかに、先の例でも、言及されている対象(「B」や「天気」)に対する憤りや軽蔑が表現されていることが分かります。

④ 他方、嘘においては、言及されている対象への軽蔑や憤りは表現されていません。嘘について「この靴は○○製である」と言う場合、その靴に対する軽蔑や憤りが表現されているわけではないことは明らかです。

嘘をつく場合には、言及対象への侮蔑がない代わりに、聞き手を騙そうとする意図があります。他方、本物の○○製の靴について、高価であるにもかかわらずすぐにくたびれてしまった場合に、「これでも○○の靴なんだよ」と皮肉を言うとしたら、この靴に対する憤りが表現されているのでしよう。しかしこの場合、聞き手を騙そうとする意図はありません。

皮肉は皮肉だと明示できる

皮肉には騙す意図がないという点から、嘘との違いについてさらに明確になることがあります。皮肉の場合には、話し手が真だと信じていないことをあたかも真であるかのように言っているだけだということを、聞き手も理解しています。聞き手が、「え、秘密をバラしたのに、Bが良い友達ってどういうこと?」とか、「こんな雨なのに、なぜ良い天気だなんて言うの?」と聞くとすれば、話し手は「いやいや、皮肉で言っているんだよ」と述べて、自分が何をしようとしているのかを明示することができます。

他方、「この靴は〇〇製です」と言うことで嘘をついている場合、話し手は聞き手に、自分は真だと信じていないことをあたかも真であるかのように言っているだけだと、説明するわけにはいきません。嘘をついている場合には、聞き手を騙すことが意図されており、この意図を明かすことはできないからです。意図を明かすことができないのは、この意図が知られた場合、聞き手が発言の内容を信じることはないからであり、つまり、この意図はそれが知られるならば実現しないようなものだからです。言いかえれば、嘘をつくことにはその意図を隠すことが含まれるわけです。

真であると信じていないことをあたかも真であるかのように言う点で、嘘と皮肉には類似性が見出せますが、嘘には聞き手を騙そうとする意図があります。このことが、嘘は悪いことと見なされるのに対して、皮肉は悪いこととは見なされないという事情に係っているでしょう。皮肉も言えないような社会は窮屈だと感じられるでしょうし、皮肉はむしろ会話のスパイスとしてポジティブに働くようにさえ思われます。ただし、皮肉は言及対象への軽蔑を含むという点で道徳的に全く中立というわけではないことも確認されました。

冗談に騙す意図はなく冗談だと明示できる

次に、皮肉と同じように、「自分が真でないことと信じていることをあたかも真であるかのように」言うという点で嘘に似ているものとして「冗談」についても考えてみましょう。これは実話ですが、ある時、授業中に「新しくできたラーニングスクエアは、日本初の可動式校舎で動くんですよ」と私が言ったことがあります。ラーニングスクエアというのは、私が勤務する明治大学の和泉キャンパスに二〇二二年に新設された校舎で、その校舎が完成してまもなくの頃にそんなことを言ってみました。学生のかなかに笑いがこぼれると同時に、えっという驚きの表情をする学生も見られました。すると私は自然に「嘘、嘘、冗談ですよ」と言っていました。事実、ラーニングスクエアは動いたりはしないのですが、冗談でそう言ってみただけです。本当かと思っただけ驚く学生に対して、私は冗談で言っているだけだと自分の発言を説明したかったわけでした。

このエピソードを取り上げたのは、私たちはしばしば「いやいや、嘘、嘘だよ、冗談、冗談」などと自然に言い、嘘と冗談とを交換可能なものかのように扱っていることに注目するためです。しかし、嘘をつくこととは悪いことだと言われるのに対し、冗談は楽しくて面白いものだと思われています。それにもかかわらず、いじめと遊びの場合に似て、嘘と冗談の区別が曖昧になることがあります。しかし、よく考えれば両者は明らかに別物です。

まず、冗談を言う場合、嘘をつく場合とは異なり、相手を騙す意図はありません。それゆえ、話し手は聞き手が冗談を言っていると理解していない場合には、自分は冗談を言っているということを説明できます。しかし、嘘の場合には自分が嘘をついているということが相手に知られてはいけません。

同じことは芝居のセリフにも言えます。芝居のセリフは、

で嘘に似ていますが、やはり、本気にしている人がいたら、「これはお芝居で言っているんだよ」と

で嘘とは異なっています。

※ 嘘を発語内行為として認めない議論

皮肉や冗談と嘘とのあいだの相違は、専門的に言えば、成功条件の違いだとされています。一般に、発語内行為の成功にとっては話し手が何をしようとしているのか——注文しよう、皮肉ろう、など——を聞き手が認識していることが成功の条件になります。

例えば、話し手(客)が「天ぷらそばください」と言うことで注文に成功するのは、聞き手(店員)が、この話し手が注文しようとしていることを認識している限りにおいてです。客が「天ぷらそばください」と言っている場合に、店員が何らかの理由で、この客はお芝居の練習をしようとしていると認識する——そして続きを期待して耳を傾けている——とすれば、同じ言葉を言っても注文の行為は成功しません。もちろんこんなことは滅多にありそうにありませんが、例えば、この客が同席の客とずっとお芝居の練習の話をしている、しかも今度蕎麦屋が舞台の芝居に出るとい話をしていたとすればどうでしょう。この話が店員の耳にも入っていたとすれば、先のような勘違いが生じる可能性はあります。

「Bは良い友達だ」とか「ラーニングスクエアは可動式校舎です」とか言った場合も事情は似たようなものです。話し手は、皮肉を言ってBをおちよくろうとしたり、冗談を言って笑わせようとしたりしています。聞き手が話し手のこうした意図を認識していることが、皮肉や冗談を言う行為の成功条件になっています。それゆえ、聞き手にこの認識が欠けていることが分かると、話し手は、「冗談だよ、冗談」とか「皮肉で言っているんですよ」と明示的に述べて、自分が何をしようとしているのかを聞き手に認識させる必要が出てきたわけです。

ところが、嘘の場合には、話し手が何をしようと思図しているのかを聞き手が認識していないことが成功条件になる、という根本的な違いがあります。嘘が成功するのは、まさに聞き手が、話し手は嘘をつこうとしているのではないと思いつている場合です。嘘の場合には、発語内行為の成功条件に、話し手の意図についての聞き手の認識が欠けているという決定的な特徴があります。それゆえに、嘘はそもそも発語内行為としては扱えないという議論もあります。しかし、ここでは専門的な議論には立ち入らず、原則的な同意点を確認するにとどめましょう。つまり、嘘において話し手は、自分がやっていること——嘘をついていること——を聞き手に認識させてはならず、そのことを明示することはできず、むしろ隠し通す必要がある、ということなのです。

「笑えない冗談」を考える——優越の理論

皮肉だけでなく冗談も嘘に似ていますが、決定的な違いがあることは分かりました。そもそも嘘とは異なり、皮肉と同様に冗談もコミュニケーションのスパイスであり、皮肉も冗談もない会話は面白くないに違いない①。しかし、どんな料理のスパイスも分量を間違えれば料理を台無しにしてしまいます。実際、「笑えない冗談」という言い方があるように、私たちは冗談だと言えども言っただけでよいと考えているわけでもない②です。

昔から古今東西に見られる冗談として知られるものに「エスニックジョーク」というものがあります。何らかの人種、民族、国民のメンバーのステレオタイプ化された特徴を笑いのネタにする冗談のことです。このような冗談は、自分たちとは別の集団のことを、自分たちとは異なっていて滑稽なものとして描き出します。ここでは一例だけをあげましょう。アメリカの病院の診察室で、医師が日本人の患者に聞いた。「How are you?」日本人の患者が答えた。「I'm fine thank you. and you?」③というものです。医師は患者に心身の調子を尋ねているのに、英語学習で暗記した例文のような返事をする典型的な日本人の様子を描いています。

馬鹿にされているようで笑えないという読者もいるのではないのでしょうか。なぜでしょうか。この問いに対しては、最も古くから普及している笑いの理論と言われる「優越の理論」が答えてくれます。それによれば、笑いとは「他人にたいする優越感の表現」なのです。エスニックジョークの笑いのネタは、「ある特定の民族集団の行動特徴や価値観と目されるものなかでも「ネガティブ」な側面」であるので、このタイプの冗談は、典型的に、自分たちとは異なる人たちに対する優越感を表現するものだと言えるでしょう。

ところで、笑いには伝染するという特徴があります。私たちは、しばしば、誰かが笑っているだけでつい笑ってしまいます。具体的に何を言っているのかはよく聞き取れていなくても、みんなが笑っていたらつい笑ってしまうということがあられるでしょう。このように笑いは伝染するため、お笑いでは、会場の全体を笑わせるよりも、会場の半分だけを笑わせるのは難しいと言われるほどです。

エスニックジョークに見られるように、冗談はしばしば特定の人たちを劣ったものとして集団で笑い者にするものです。笑い者にされている人の立場に立つと、このような冗談は面白いものではありません。ですから、私としては、笑いが伝染してみんなが笑っていても、自分もなんとなく笑うというのではなく、「え、なんて言ったの？」と冗談の内容を確認し、人を笑い者にするような冗談であれば、「笑えない、面白くない」と言う勇氣をもつことも大事ではないかと思えます。

より安心して笑える冗談とは——ズレによる笑い

幸いなことに、私たちの笑いは優越感が満たされる反応だけを源泉とするわけではないようです。私たちは、予期していなかった何かが生じたり語られたりした時、その反応として可笑しくなり笑うという考え方があり、「ズレの理論」と呼ばれています。私たちは慣れ親しんだ世界のなかでさまざまなことを予期しています。特定のものには特定の振る舞いのパターンがあり、特定のものには特定の性質や機能があることを予期しています。YouTubeのような動画サイトには、ペットの犬が人間のように振る舞ったり、幼い子どもがまるで大人のように振る舞ったりした時のホームムービーがよくアップされていますが、そういうのを見るとつい可笑しくて笑ってしまいます。

先に挙げた「ラーニングスクエアは可動式校舎で動くんですよ」という冗談も、このズレの理論で説明可能です。校舎は当然動かないと予期するので、それが動くと言われて、その様子を想像するについ笑ってしまふ、という面があるでしょう。このような冗談は、人間の集団ではなく事物を対象としており、また、優越感のような感情を刺激するのではなく、普通予期されることとは別のことを言うことで想像や認知を刺激するものです。それゆえ、教室で言っても、特定の誰かを傷つける可能性は低く、より安心して笑える冗談のように思われます。

何が安心して笑える冗談なのか、どういう笑いなら思い切り笑えるのか。これは難しい問題です。たしかに、冗談を言うことには、嘘をつく場合とは異なり、相手を騙そうとする意図はないのですが、そうだと④でも、単にコミュニケーションの潤滑油だとして重宝がるだけでは冗談の複合的な側面は見えてこない。このことも明確になったかと思えます。

冗談や皮肉はそれ自体考えるべきことの多いトピックですが、嘘をつくとは何をすることかという本章のメインの問いからはだいぶ離れてしまいました。ここでは、冗談も皮肉も、相手を騙そうという意図がない点で嘘とは明確に区別できる一方、嘘とは別の問題を含んでもいるということを確認するにとどめておきます。

(池田喬「嘘をつく」とはどういうことか 哲学から考える』より)

※(注)

L—————本文の出典箇所よりも前に紹介された「嘘の理解」のこと。本文で紹介されていた「嘘の理解」とは「嘘をつくことは、相手を騙そうと意図して、自分が真であると信じていないことをあたかも真であるかのように、平叙文で言うことである。」というもの。「平叙文」とは、疑問文や命令文とは異なり、事実や状況などを客観的に述べる文のこと。

発語内行為—————発話によって、聞き手や周りの人に何らかの行動や感情が結果的に生じる行為のこと。

ステレオタイプ—————ある特定の集団や個人に対して一般化された、固定的なイメージのこと。
ありふれた型。 きまりきった型。

「How are you?」—————日本語に直訳すると「調子はどうですか。」程度の意味。しばしば挨拶に用いられる。

「I'm fine thank you, and you?」—————日本語に直訳すると「元氣です。ありがとう。あなたは怎么样了か。」程度の意味。

問一 —— 線① 「この見方に基^{もと}づいて、嘘^{うそ}をつくことに類似^{るいじ}している他のタイプの行為^{こうい}との違い^{ちが}を考えていきたいと思えます。」とありますが、「嘘をつくことに類似している他のタイプの行為との違いを考えていく際に「基^{もと}づいて」いくこととなる「この見方」とはどのような「見方」のことですか。文中から過不足なくぬき出し、初めと終わりの五字をそれぞれ答えなさい。

問二 —— 線② 「皮肉において、話し手は聞き手に文字通りの意味ではない内容を理解させる必要があるが、す。」とありますが、何のために「文字通りの意味ではない内容を理解させる必要」があるのですか。次のア～エの中から最も適当なものを一つ選び、その記号を答えなさい。

ア 話し手が口にした言葉は本心から出たものではないということを伝えるため。

イ 話し手が本当に言いたい非難やかからかいといった気持ちを聞き手に伝えるため。

ウ 聞き手に対する厳しい指摘^{してき}によって相手を傷つけないようにするため。

エ 聞き手に対して本心を伝えるつもりはないとアピールするため。

問三 —— 線③ 「両者には明確な違いがあるからです。」とありますが、「両者」とは何を指しますか。文中の言葉を使って答えなさい。

問四 —— 線④ 「嘘においては、言^{げん}及^きされている対象への軽蔑^{けいべつ}や憤り^{いきどお}は表現されていません。」とありますが、「嘘」には「軽蔑や憤り」の代わりに何が含ま^{ふく}れていますか。文中から十字以上十五字以内でぬき出して答えなさい。

問五 —— 線⑤ 「言いかえれば、嘘をつくことにはその意図を隠^{かく}すことが含まれるわけです。」とありますが、「嘘をつく」「意図」を隠さなければならぬのはなぜですか。次のア～エの中から最も適当なものを一つ選び、その記号を答えなさい。

ア 嘘は話し手が聞き手の信頼^{しんらい}を裏切ることであり、話し手の裏切りの気持ちが知られてしまうと、相手を傷つけてしまうから。

イ 嘘は社会的に許されないことだという認識^{にんしき}が社会で共有されているので、嘘をついたことが知られると悪い人間だと思われてしまうから。

ウ 嘘は聞き手を驚^{おどろ}かさす目的を持っているので、話し手の意図が知られてしまうと会話が盛り上がりなくなってしまうから。

エ 嘘は話し手が聞き手をあざむくためのものであり、あざむこうとしていることが聞き手に知られてしまうと発言の内容を信じてもらえないから。

問六 ——線⑥「皮肉はむしろ会話のスパイスとしてポジティブに働くようにさえ思われます。」とありますが、「会話のスパイスとしてポジティブに働く」とはどういうことですか。次のア～エの中から最も適当なものを一つ選び、その記号を答えなさい。

- ア 会話を円滑に進めてくれる手助けになるということ。
- イ 会話を活性化させる良い刺激になるということ。
- ウ 会話の趣旨を明らかにするキーワードになるということ。
- エ 会話の内容を他の話題へと広げるきっかけになるということ。

問七 ——線⑦「道徳的に全く中立というわけではない」とありますが、「道徳的に全く中立」ではないとはどういうことですか。次のア～エの中から最も適当なものを一つ選び、その記号を答えなさい。

- ア 皮肉は言葉の意味とその言葉の真意が異なるため、どっちつかずであいまいな態度であるということ。
- イ 皮肉はだれも信じていないことを真のように述べるといって、嘘と明確に区別できないということ。
- ウ 皮肉は話題の対象を軽んじる態度を含む場合もあるので、全く悪意がないとは言えないということ。
- エ 皮肉は自由な社会を窮屈なものとし、言及対象へのネガティブな感情を含むことがあるということ。

問八 ——線⑧「学生のなかに笑いがこぼれると同時に、えっという驚きの表情をする学生も見られました。」について、次の1・2の問いに答えなさい。

1 「学生のなかに笑いがこぼれる」とありますが、この時の「学生」について説明したものととして最も適当なものを次のア～エの中から一つ選び、その記号を答えなさい。

- ア 「私」の「ラーニングスクエアは可動式で動く」という発言について、事実ではないと理解したうえでおかし味を感じている。
- イ 嘘なのか真実なのかははっきりとしない話題について、授業中に面白おかしく語る「私」の様子を滑稽に感じている。
- ウ 「ラーニングスクエアは可動式で動く」ことを「私」の発言によって初めて知ることができ、喜びをかくせないでいる。
- エ 「私」が自分たちを騙そうとしていることに気づいたことで、先生である「私」に勝ったという優越感を覚えている。

2 一部の「学生」が「えっ」という驚きの表情をしたのはなぜですか。十字以上二十字以内で答えなさい。

問九 文中の空らん ・ にあてはまる言葉の組み合わせとして最も適当なものを、次のア

エの中から一つ選び、その記号を答えなさい。

ア I 自分で真だと信じていないことをあたかも真であるかのように言う点

II 自分の意図を隠さねばならない点

イ I 真であることを真ではないこととして言う点

II 自分が何をしているのかを明示できる点

ウ I 真であることを真ではないこととして言う点

II 自分の意図を隠さねばならない点

エ I 自分で真だと信じていないことをあたかも真であるかのように言う点

II 自分が何をしているのかを明示できる点

問十 — 線⑨ 「この話が店員の耳にも入っていたとすれば、先のような勘違いが生じる可能性はありま

す。」とありますが、なぜ「先のような勘違いが生じる可能性」があるのですか。次のア、エの中から最も適当なものを一つ選び、その記号を答えなさい。

ア 客が店員に対して本心とは異なる発言を繰り返すことで、店員の頭が混乱してしまう可能性が高まってしまふから。

イ 聞き手である店員が客同士の会話を耳にすることで、客の発話の意図に対する解釈の可能性が広がってしまうから。

ウ 客が同席の人と世間話をしながら注文することで、店員が注文内容を聞き間違える可能性が大きくなってしまふから。

エ 聞き手である店員が客同士の会話の内容に興味を持つことで、仕事の集中力がとぎれる可能性が高まってしまふから。

問十一 — 線⑩ 「皮肉や冗談を言う行為の成功条件」とありますが、「皮肉」や「冗談」と、「嘘」の「成功

条件」の違いについて説明した次の文の ・ にあてはまる言葉を、それぞれ文中の言葉を使って二十字以内で答えなさい。

皮肉や冗談は ことが成功条件であるのに対し、嘘は ことが成功

条件となっている。

線①「どんな料理のスパイスも分量を間違えれば料理を台無しにしてしまいます。」とありますが、筆者はどのようなことを述べようとしているのですか。次のア～エの中から最も適当なものを一つ選び、その記号を答えなさい。

ア スパイスが使われすぎると料理の味が分からなくなってしまふのと同じように、皮肉や冗談じょうだんも使すぎると会話の趣旨しゅしが埋もれて内容が分からなくなってしまふということ。

イ スパイスの扱いあつかに慣れていないと上手じょうずに使うことができなものと同じように、皮肉や冗談も言いたくないと会話に楽しさや面白味おもしろみを加えるものとして機能しなくなってしまうということ。

ウ スパイスの使われる量が少なすぎると料理の味がぼやけてしまふのと同じように、皮肉や冗談も使われる頻度ひんどが少なすぎると会話に面白味がなくなってしまうということ。

エ スパイスが多すぎても少なすぎても料理の味を損そこねてしまふのと同じように、会話において皮肉や冗談の使い方を間違えると相手とのコミュニケーションをかえって損そこねてしまうということ。

——線②「エスニックジョーク」について次の1・2の問いに答えなさい。

1 文中で取り上げられている日本人に対する「エスニックジョーク」についての説明として最も適当なものを次のア～エの中から一つ選び、その記号を答えなさい。

ア アメリカの医師の言った「How are you?」という言葉は患者の心身の状態を聞いたものであったのに対して、丸暗記した例文を返すだけでコミュニケーションが深まっていないことを取り上げ、日本人の無愛想な態度を笑いに行っている。

イ アメリカの医師の言った「How are you?」という病状をたずねた言葉に対して、自身の体調不良を英語学習の機会として最大限に利用しようとする日本人の様子を取り上げ、日本人の生真面目さや場違いなふるまいを笑いに行っている。

ウ アメリカの医師の言った「How are you?」という言葉は患者の心身の状態を聞いたものであったのに対して、日本人の患者は覚えた例文を機械的に返してコミュニケーションが成立しなかったことを取り上げ、日本人の融通の利かさや英語力の低さを笑いに行っている。

エ アメリカの医師の言った「How are you?」という病状をたずねた言葉に対して、日本人の患者がこれまでの英語学習で暗記した例文の中から適切な回答を必死に思い出そうとあわてふためている様子を取り上げ、日本人の記憶力の低さを笑いに行っている。

2 「エスニックジョーク」の特徴として最も適当なものを次のア～エの中から一つ選び、その記号を答えなさい。

ア エスニックジョークは特定の人々の行動や特徴に価値を見出すことで笑いを誘うので、笑い者にされた人々に過剰な優越感や自信をもたらしてしまう可能性がある。

イ エスニックジョークは特定の人々のネガティブな面を笑いというポジティブなものに変化させて人々に優越感を与えてくれるので、多くの人々に伝染して普及した。

ウ エスニックジョークは特定の民族に対する先入観に基づいた特徴を誇張して笑いを誘うものであり、他者に対する優越感を表すものなので民族差別につながる恐れがある。

エ エスニックジョークは人に伝染するという笑いの特徴によって成り立つ冗談であるため、特定の民族を話題にしているにも関わらず、世界で通用するものとなっている。

問十四——線⑬「ズレの理論」の例としてあてはまらないものを次のア～エの中から一つ選び、その記号を答えなさい。

- ア いたずらが見つかってしまい、母にしかられて泣いている弟を見てそばにいた兄が笑った。
イ 勇敢なヒーローが助けに来てくれたと思ったら、悪役を見るなり立ち去って観客が笑った。
ウ 普段まじめそうに見える先生が、授業中に突然ダジャレを言って教室中の生徒が笑った。
エ 父が会社へ行くときに「行ってきます。」ではなく、「いただきます。」と言って母が笑った。

問十五——線⑭「単にコミュニケーションの潤滑油だとして重宝がるだけでは冗談の複合的な面は見えてこない。」とありますが、筆者はどのようなことを言おうとしていると考えられますか。次のア～エの中から最も適当なものを一つ選び、その記号を答えなさい。

- ア 冗談は聞き手を騙そうとする悪意はないものの、真実ではないことを言うという点で、多くの人からの共感が得られる可能性は低い。
イ 冗談は人間関係を改善する力を持つものの、聞き手の理解力によっては伝わらない可能性もあるので、相手を選んで使う必要がある。
ウ 冗談は会話を盛り上げる材料になる一方で、内容によっては人を傷つけてしまう可能性があるの
で、使い方には注意が必要である。
エ 冗談は人に優越感をもたらし、自信を与えてくれるという利点がある一方で、耳にした人を不快にさせてしまう可能性もある。

問十六 本文における筆者の話の進め方についての説明として最も適当なものを次のア～エの中から一つ選び、その記号を答えなさい。

- ア 筆者は「より安心して笑える冗談」を追究するために、嘘や皮肉との比較を通じて冗談の持っている問題点の改善方法を論じている。
イ 筆者は嘘の特徴を明らかにするために、嘘と同様に真ではないことを述べている冗談や皮肉を取り上げて嘘との違いを論じている。
ウ 筆者は会話をスムーズに進める方法を明らかにするために、嘘と冗談と皮肉の具体例をそれぞれ取り上げて比較しながら論じている。
エ 筆者は嘘と類似していることで混同されてきた行為と嘘とを区別するために、皮肉と冗談といったものに注目しながら論じている。

二 次の漢字と言葉に関する問いに答えなさい。

問一 次の①～⑤の——線部のカタカナを、それぞれ漢字に直しなさい。

- ① バレエのコウエンスケジュールが発表される。
- ② 敵を何重にもホウイする。
- ③ この教室にはゴミ箱がジョウチされている。
- ④ 会社のカンバンとなる商品を開発する。
- ⑤ 市街地に店をカマえる。

問二 次の①～④の——線部の漢字の読みを、それぞれひらがなで答えなさい。

- ① 造作なく仕事を終わらせる。
- ② 有名作家の旧居をたずねる。
- ③ 自分で判断して取捨する。
- ④ 岩手県を経て青森県に行く。

問三 次の①～③の二つの慣用句の組み合わせについて後の1・2の問いに答えなさい。

- | | | | |
|---|---------|---|-------|
| ① | から鼻へぬける | / | 鼻がつく |
| ② | が折れる | / | を惜しむ |
| ③ | に病む | / | がおけない |

1 ①～③の組み合わせられた慣用句の□には同じ漢字一字が入ります。それぞれその漢字一字を答えなさい。

2 ①～③の慣用句の組み合わせの中で良い意味で使われる慣用句と、悪い意味で使われる慣用句の組み合わせとなっているものを一つ選び、その記号を答えなさい。

問四 次の①～④の文の□には色を表す漢字一字が入ります。あてはまる漢字一字をそれぞれ答えなさい。

- ① 優勝間近であったのに□星をつけられた。
- ② 春からの中学校生活についての□写真をえがく。
- ③ 彼は野球界で多くの□字塔を打ち立てた選手だ。
- ④ この国語の試験問題は□子の手をひねるようにやさしい。

